

農家の皆さん支援策を活用しましょう。

長野県農業担い手育成基金事業
農業後継者就農支援金

対象者 主として農業によって生計を立てている世帯の後継者

- ① 1 年間の営農経験を有した概ね 40 歳未満の農業後継者
- ② 1 年間の営農経験後 6 ヶ月以内に申請した者
- ③ 3 年間以上営農を継続することが見込まれる者

助成額 1 人 10 万円以内

問合せ先 農政課担い手担当 Tel 34-3222 又は 農業委員会事務局 Tel 34-3226

よもやまばなし



農業委員
百瀬 茂敏
(神林)

『ナマズ始末記』

鯰・ナマズ：：巨大な頭と口に長いヒゲ、見た目はグロテスクだが見慣れると妙に愛嬌があり憎めない味のある顔：肉食で共食いも平気とする食欲で凶暴な反面、産卵時における深い夫婦愛に見られる繊細で神経質な面を合わせ持ったなんとも不思議な生き物である。

生態がよくわからないため、飼育、販売、料理の各部における苦労や失敗のエピソードは語り尽くせない程多い。

十年前、神林地区ではそれまで進めてきた転作プロジェクトローテーションを土台に、土地の高度利用、栽培管理の一元化、作業の大型効率化に向け、各集落生産組合、機械受託者部会の強化充実を計り、新たな集落営農へ一歩踏み出そうとしていた。その活力源とな

る「元気の出る」ユニークな事業として何気なく話題にのぼったナマズ養殖の話に火がつき、先進地、埼玉への視察「2000年の会」の設立、休耕田を利用した養殖池の準備、稚魚の運搬とトントン事が進み、以来十年に及ぶナマズとの深い付き合いがはじまったのです。



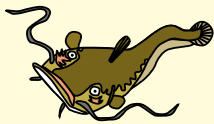
なまずの収穫

川の河豚とも呼ばれ、白身で癖のない淡泊な味、三年の飼育で約一キロに成長し一匹が約千円位で取り引きされている：甘い期待や皮算用とはうらはらに、生態のよくわからないオタマジャクシの兄のような、わがままで神経質な稚魚との腫物にさわるような格闘が続きましたが、大きな失敗や苦い経験にもめげず、

日々の観察と工夫、成長するマナズへの愛情だけを頼りに年々ノウハウを蓄積し順調な飼育が続きました。エサを要求して池が盛り上がるかのように躍動する姿に確かな手ごたえを感じ、販路拡大に夢を託した調理の試作や試食も繰り返しされました。素人にはどうにも手におえない大きな頭のとろけるような兜煮の味とプロの技に大変感動したものです。

しかし、三ヶ月程しか飼育期間が取れない信州の水温の低さと食習慣の無さは致命的な問題でした。大きな不足、歩留まりの悪さ、物珍しさだけではどうにもならない。副業の問題と限界はクリアーできず事業は断念せざるを得ませんでした。朝夕のナマズ池会議やミーティングは、組織活性化の潤滑油であり大きな推進力となりました。

今、更なる農業の展開にむけての「元気の出る」事業が必要ではないでしょうか…



編集後記

台風の直撃はなかったものの、日本列島は次々と摘発される食品流通業界の不正や犯罪行為の大嵐に飲み込まれ、翻弄され続けた一年でした。不安と不信に満ちた暗雲の動きは遅く、台風一過の青空は容易に訪れそうにありません。

資材の高騰に苦しむ生産者、健康を脅かされ続ける消費者の一方で利益を貪り笑う者が後を絶たない歪みきった構造を一刻も早く正し、国民の命と健康を守る誇りと自信、信頼と安心を取り戻させる施策が待たれます。

農業委員会だより

編集委員長

副委員長

委員

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|
| 百瀬 茂敏 | 藤岡 倉門 | 下里 昌康 | 上條 陽一 | 齋藤 篤 | 萩原 佑親 | 瀧澤 健夫 | 牧田 富子 | 百瀬 節 | 新村 和代 |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|